

# 日刊

THE NIKKAN

# 工業

KOGYO SHIMBUN

# 新聞

6月16日 金曜日

2017年(平成29年)

日刊工業新聞

ハーモテック

## 原材料搬送チャック開発

加工食品生産  
ライン向け 軽量・凹凸物にも対応

ハーモテック(甲府市、岩坂齊社長、055・298・6690)は、ロボットなどの自動化設備を導入する加工食品などの生産ライン向けに、原材料を搬送するチャックを開発した。青のりのような軽量で飛び散りやすい食品、せんべいなど表面に凹凸がある食品なども正確な量を搬送できる。一般的な真空方式による吸着ではなく、空気の渦を利用し大気圧より低い圧力(負圧)を起こし吸引するため、機器の汚染や清掃の手間がない。需要先を見極め、早急に商品化する。

### ロボット

は、シリンドラ形状部品を吸引する。食品を洗浄する手間がない品の凹部内側に沿って空中に浮かせている状態などのメリットがある。空気を流し出し、渦巻き状態のため、機器にぶつかる。弁当や総菜、デザートなどの生産は品目が異なる。対象の食材を変更しても、機器頻繁に変わり、総菜用



にカットしたジャガイモのように形状が安定しないため自動化が難しい。ハーモテックの搬送チャックをロボットハンド部分に取り付けること、洋菓子のゴマやフライドオニオン、けずりぶしのよう

青のりのような軽い食材にも対応できる食品搬送チャック  
▲フト、かき揚げそばの生産などに幅広く対応できる。  
ハーモテックは半導体業界向けウエハーの搬送ロボットが主力。食品業界に需要があると見て搬送チャックを開発した。

な軽量物にも対応できる。